

## 令和5年度 第1回釜石市立平田公民館運営審議会開催結果

- 1 日 時 令和5年5月25日（木）午後2時～午後2時40分
- 2 場 所 平田集会所 2階 大会議室
- 3 出席委員 6名  
佐々木淳子副委員長、佐守直人委員（代理：今津みどり副校長）、  
小松美香委員、福田博委員、高澤友子委員、久保修一委員
- 4 欠席委員 佐藤雅彦委員長
- 5 事務局等 4名  
まちづくり課：佐藤貴之課長、浦城太郎主任  
平田公民館：小笠原達也館長、村田奈々主査
- 6 傍聴者 なし
- 7 結 果

小笠原館長が定足数を満たしていることを告げ、会議の開会を宣言し、令和5年度平田公民館運営方針及び事業計画について、資料に基づき説明し、質疑応答後提案のとおり了承された。

### ○委員の主な発言等（概要）

#### （1）令和5年度平田公民館運営方針及び事業計画について

[意見]：情報モラル事業について、小学校から中学校へ繋がりのある授業を開催してほしい。  
例えば、今年度中学1年生の子供達が、昨年度勉強したその先を勉強できるのではないかと考える。情報モラルについては、どこの学校でも課題になっている。

[質問]：コロナ前に男の料理教室があり、食改が関わっていた。今年度はやらないのか。

[回答]：自主サークル「男の料理教室」は、サークル代表者と協議する。

[意見]：以前、釜石祥雲支援学校に行った時、「こちらに来たばかりで地域の方との交流等、どこから手をつければ良いかわからない。」と話されていた。公民館が中心になり地域とつながりを作ってほしい。

[意見]：認知症サポーター養成講座について、地域企業、商店に広く声掛けし、色々な世代に声掛けしてほしい。

#### （2）その他

[意見]：AED講習とあったが、継続してやらないといけないと思う。一回こっきりだと、次の年になると忘れて慌ててしまう。屋内より屋外で倒れる方が多いと聞く。漁師の方等、作業中に倒れる方がいるかもしれない。そうした方等にも声をかけてほしい。

[意見]：昨年度釜石PITで手話の方達の映画を上映した。小さな集落で生まれ育ったろうあ者の話で、本当のろうあ者が出演し感動する映画だ。そういう映画上映会で交流ができるのではないかと。子供が見ても理解できる内容だった。見て、考えるきっかけになると思う。

[意見]：認知症サポーターについて、平田は画期的で最初に取り掛かった。ぜひステップアップ講座も開催し、チームオレンジを立ち上げてほしい。他地区では、ジュニアサポーターを昨年度立ち上げ、今年度は、地元スーパーに認知症の方が買い物する際、買い物サポートをする企画も出ている。ぜひ検討してほしい。 以上